

2. 「命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習」

(1) 受講生によるアンケート評価

受講者人数：計34名

I 本取組に関する共通の質問

I-1 【属性について】

(コメント)

・8大学・高等専門学校12学科から34名の受講があり、栄養や生命環境学部など食と農に関連する学科に所属する学生から、工学部など専門的なつながりを持たない受講生まで多様な学生を受け入れた。学年は2年次生が11名と最も多く、1年次生が6名で最も少ない。また、山口県立大学は「教育ネットワーク中国」に加入しておらず、単位互換制度がないが、今年度7名の受講があった。

・フィールドワークの経験について、26%が「ある」と答えており、昨年の15%より増加している。そのうち53%が大学での経験で、農漁業関連のフィールドワークを行う学部学科からの受講生が増加していることがうかがえる。

I-1-1) 所属大学・学部（コース等）

・広島経済大学 計8名

（
経済学部経済学科：2名
経済学部国際地域経済学科：3名
経済学部経営学科：3名
）

・山口県立大学 計7名

（
看護栄養学部栄養学科：6名
国際文化学部国際文化学科：1名
）

・福山大学 計4名

（
生命工学部生物工学科：3名
生命工学部海洋生物科学科：1名
）

・呉工業高等専門学校 電気情報工学科：5名

・安田女子大学 家政学部管理栄養学科：4名

・広島女学院大学 生活科学部生活デザイン・情報学科：3名

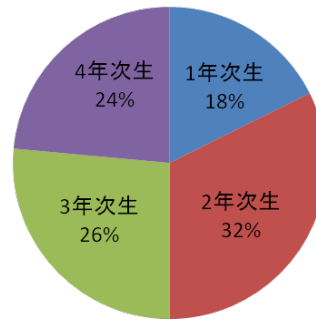
・広島国際大学 工学部建築学科：2名

・県立広島大学 生命環境学部環境科学科：1名

I-1-2) 学年

- ・ 1年次生：6名
- ・ 2年次生：11名
- ・ 3年次生：9名
- ・ 4年次生：8名

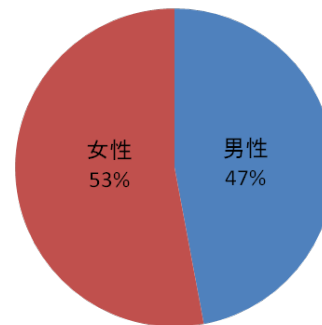
参加者の学年



I-1-3) 性別

- ・ 男性：16名
- ・ 女性：18名

参加者の性別



I-1-4) この演習以外に、これまでにフィールドを利用した授業を受けた経験があるか

ある：9名、ない：25名

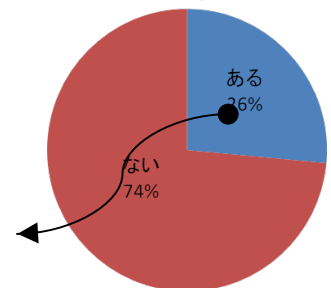
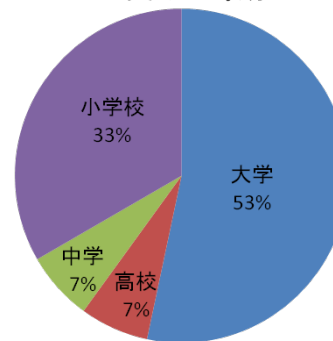
これまでにフィールドでの授業を受けた経験の有無



I-1-5) それほどの時期か(複数可)

- ・ 大学：8名
- ・ 高校：1名
- ・ 中学：1名
- ・ 小学校：5名

受けた時期



I-1-6) 授業の内容

- ・ 小学校：田植え、中学校：乳搾り、大学：磯・海での実習
- ・ 小学校付近の会社や工場に行きインタビューする
- ・ 稲・野菜の栽培、騒音について調べる、地域共生演習
- ・ 社会見学で行った牧場で柵の外から牛を見て、職員さんの話を聞いた
- ・ 海洋生態を調べる授業
- ・ 瀬戸内海めぐみについて、3泊4日の船での実習
- ・ 米の栽培、古民家宿泊
- ・ 船に泊まり、海洋生態と海の状況を調べる
- ・ 瀬戸内海の生物
- ・ ボランティア論、森林ボランティア（木を切る）

I-2 【この授業に参加するにあたっての情報入手について】

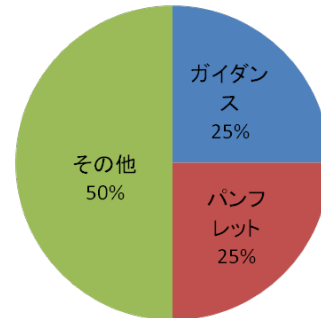
(コメント)

・参加にあたっての情報源としては、「ガイダンス」と「パンフレット」をあげた人がそれぞれ7名、25%ずつで、50%を占めるにとどまった。今後、周知に向けてさらに情報発信を強化する必要がある。

授業のことを、何を通して知ったか（複数可）

- ・ガイダンス：7名
- ・パンフレット：7名
- ・先輩から：該当者なし
- ・ネット：該当者なし
- ・その他：14名
- ・無回答：7名

この授業を知ったきっかけ



I-3 【この授業に参加された理由について】

(コメント)

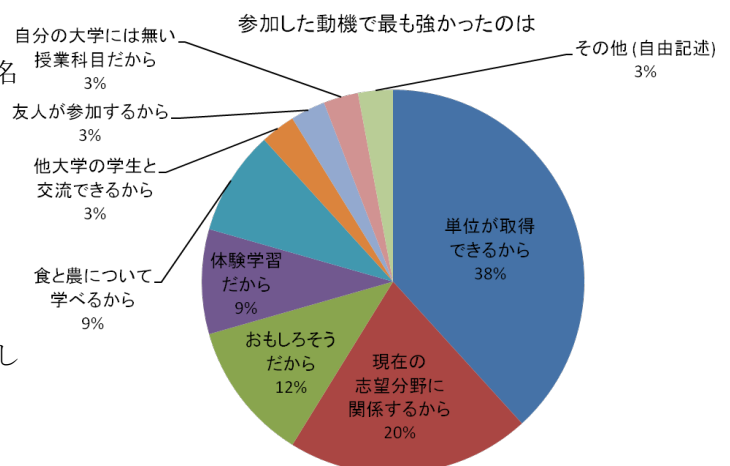
・今年度は「現在の志望分野に関連するから」をあげた学生が7名(20%)と、昨年の5%から大きく伸びており、今年度は関連学部学科からの参加に増加が見られた。

・その一方で、「単位が取得できるから」をあげた学生が13名(38%)と最も多く、食と農への理解を深めるとい本演習の趣旨と異なる理由で受講を決めた4年生が目立った。

・次年度は受講対象学年を1、2年生に限定するなどして、演習の趣旨に合った方法で受講生を決定する必要がある。他の回答としては、「おもしろそうだから」(12%)、「体験学習だから」(9%)などがあげられ、「他大学の学生との交流」(3%)や「他大学のことを知りたい」(0%)などの回答は低く、演習の内容に関心を持って受講を決めていることがわかる。

I-3-1) 最も強い動機はどれだったか

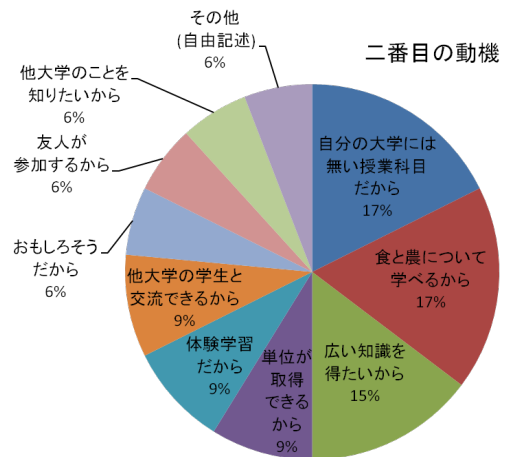
- ・自分の大学には無い授業科目だから：1名
- ・体験学習だから：3名
- ・単位が取得できるから：13名
- ・現在の志望分野に関係するから：7名
- ・食と農について学べるから：3名
- ・広い知識を得たいから：該当者なし
- ・他大学のことを知りたいから：該当者なし
- ・他大学の学生と交流できるから：1名
- ・友人が参加するから：1名
- ・おもしろそうだから：4名
- ・その他（自由記述）：1名（テレビでニワトリを多く育てていると知ったから）



I-3-2) 二番目に強い動機はどれだったか

- ・自分の大学には無い授業科目だから：6名
- ・体験学習だから：3名
- ・単位が取得できるから：3名
- ・現在の志望分野に関係するから：該当者なし
- ・食と農について学べるから：6名
- ・広い知識を得たいから：5名
- ・他大学のことを知りたいから：2名
- ・他大学の学生と交流できるから：3名
- ・友人が参加するから：2名
- ・おもしろそうだから：2名
- ・その他（自由記述）：2名

(体験を通して学ぶことできちんとした知識を身につけることができると思ったから。)
(牛と触れ合えるから。)

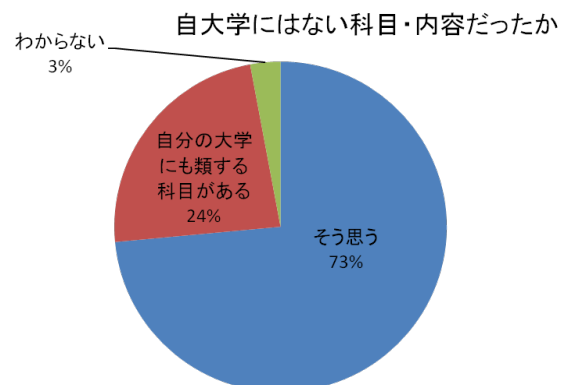


I-4 【広島大学で授業を受けた感想】

・25名(73%)の学生が「今回受講したフィールド教育に類する授業は自大学にはない科目・内容だった」と答えており、本演習はある程度の独自性を持った演習であるということが出来る。また、他大学の授業を受講することに関して、28人(81%)が「強くよかったと思う」、6名(19%)が「まあまあよかった」と回答しており、積極的な態度が見られる。

I-4-1) 今回受講したフィールド教育に類する授業は、自大学にはない科目・内容だった

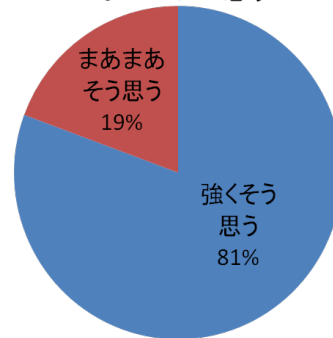
- ・そう思う：25名
- ・自分の大学にも類する科目がある：8名
- ・わからない：1名



I-4-2) 他大学の先生の授業を受講できて良かった

- ・強く思う：28名
- ・まあまあ思う：6名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし

他大学の授業を受講できてよかったと思うか



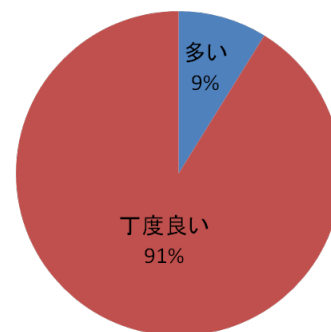
I-5 【他大学の学生との交流等について】

・定員30名は、概ね「ちょうどいい」という回答が得られた(91%)。
・他大学の学生と同じ授業を受けることに関しては、「大変良かった」「まあまあよかった」が88%を占めるものの、「あまり良くなかった」と回答した学生が4名(12%)おり、また、他大学の学生との交流についても「活発にできた」「まあまあできた」の88%に対し、4名(12%)の学生が「あまりできなかった」「全くできなかった」と答えており、演習参加の背景やモチベーションが異なる中での演習の進め方に課題が残る。しかし、他大学との交流の機会を増やすことに対しては概ね肯定的であり、来年度以降の学生へのサポートを強化する必要がある。

I-5-1) この授業は定員30名に制限しています(今回は34名です)。この定員数について

- ・多すぎる：3名
- ・丁度良い：31名
- ・少なすぎる：該当者なし

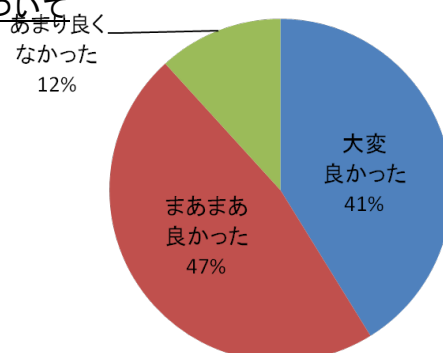
授業の定員数について



I-5-2) 他大学の学生と同じ授業を受けたことについて

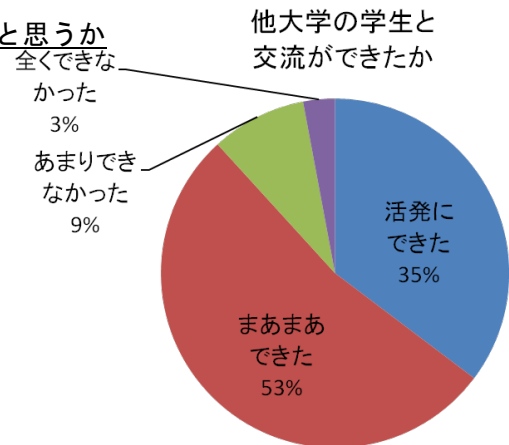
- ・大変良かった：14名
- ・まあまあ良かった：16名
- ・あまり良くなかった：4名
- ・悪かった：該当者なし

他大学の学生と同じ授業を受けたことについて



I-5-3) 他大学の学生と交流がどの程度できたと思うか

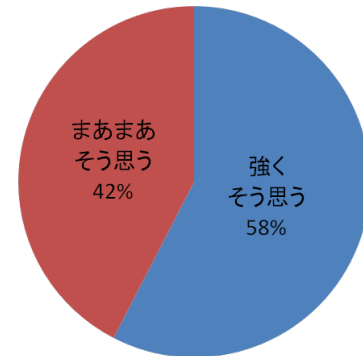
- ・活発にできた：12名
- ・まあまあできた：18名
- ・あまりできなかった：3名
- ・全くできなかった：1名



I-5-4) 今後も、他大学の学生との交流機会を増やすのは良いことだ

- ・強くそう思う：19名
- ・まあまあそう思う：14名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし
- ・無回答：1名

今後も他大学の学生との交流機会を増やすのはいいことだと思うか



I-6 【この授業は、4日間の集中形式で、講義、実習、発表の3部から構成されている】

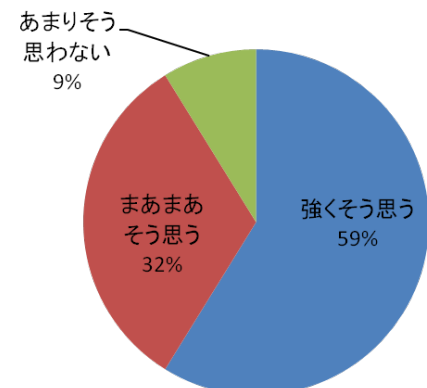
・「講義＋実習＋演習」の構成は、概ね妥当であるとの回答が得られた。また、3つのうち最も面白かったものは、全員が「実習」と回答している。

・日数は、「ちょうど良い」が28名(82%)で最も多いが、「長すぎる」と回答した学生が5名(15%)いた。一方で「短すぎる」と回答したのは1名(3%)に留まった。

I-6-1) こうした組合せは、授業を理解する上で有効である

- ・強くそう思う：20名
- ・まあまあそう思う：11名
- ・あまりそう思わない：3名
- ・全く思わない：該当者なし

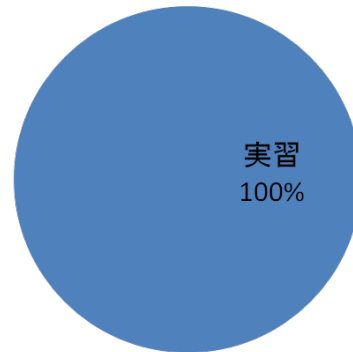
講義・実習・発表の三部構成は授業を理解する上で有効だと思うか



三部構成の内最も面白かったもの

I-6-3) 3つの部分のうち、最も面白かったもの

- ・講義：該当者なし
- ・実習：34名
- ・発表：該当者なし



I-6-3) 3泊4日の日数について

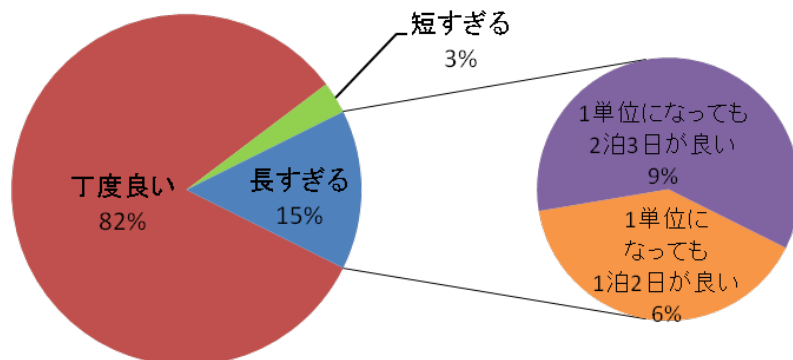
- ・長すぎる：5名



I-6-4) 何日間なら良いか

- ・1単位になっても1泊2日が良い：2名
- ・1単位になっても2泊3日が良い：3名
- ・丁度良い：28名
- ・短すぎる：1名

3泊4日の日程について

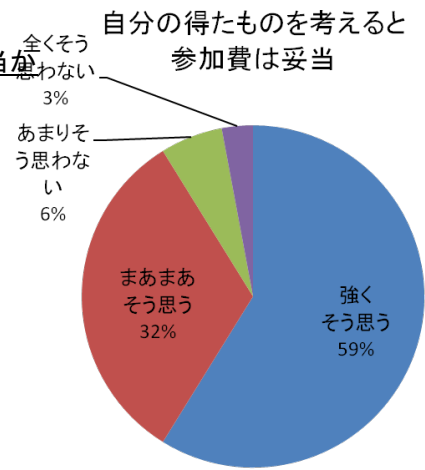


I-7 【参加費に関して】

- ・参加費については、「妥当」と答えた学生が20名(59%)、「まあまあ妥当」が11名(32%)で、「安かった」と答えた学生も1名(3%)おり、大半の学生が妥当と受け止めている。
- ・一方で「食事に満足できたか」という問いに対しては、「あまりそう思わない」12%、「全くそう思わない」21%で、来年度以降改善が必要である。宿泊に関しては、88%の学生が「強く満足」「まあまあ満足」しており、宿泊施設は妥当であったと考えられる。
- ・さらに、「参加費を高くしても食事・宿泊をよくしてほしいか」という問いについて、33%が「そう思う」と答えている。

I-7-1) 自分の得たものを考えると参加費は妥当か

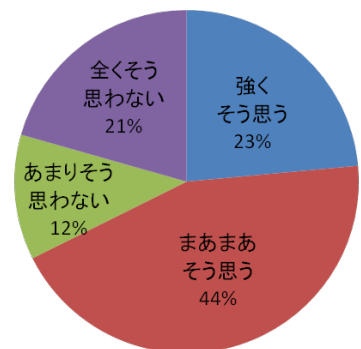
- ・強くそう思う：20名
- ・まあまあそう思う：11名
- ・あまりそう思わない：2名
- ・全く思わない：1名（安かった）



I-7-2) 参加費（実費）から考えて、食事は満足できたか

- ・強くそう思う：8名
- ・まあまあそう思う：15名
- ・あまりそう思わない：4名
- ・全く思わない：7名

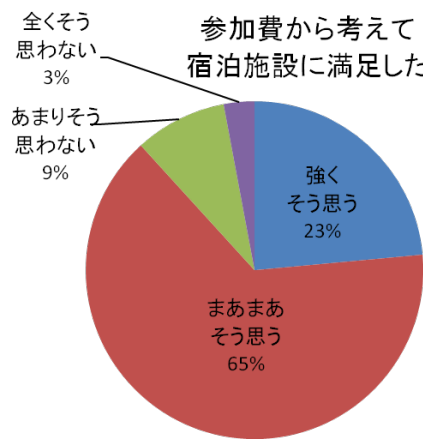
参加費から考えて
食事には満足した



I-7-3) 参加費（実費）から考えて、宿泊施設には満足できたか

- ・強くそう思う：8名
- ・まあまあそう思う：22名
- ・あまりそう思わない：3名
- ・全く思わない：1名

参加費から考えて
宿泊施設に満足した



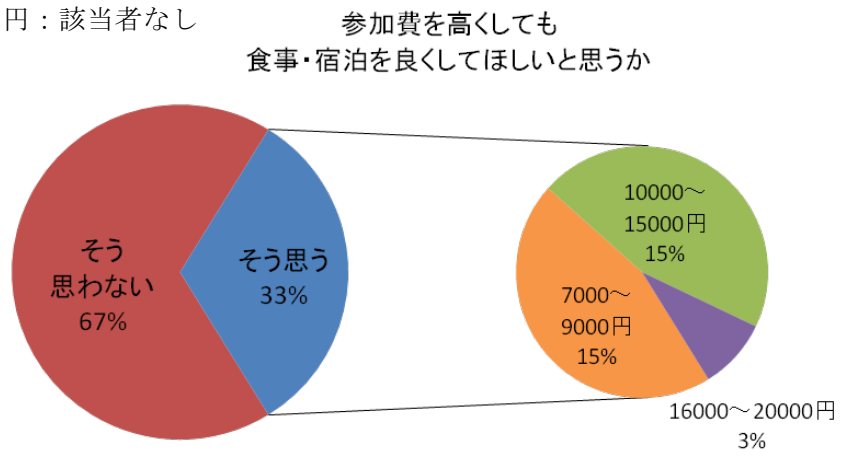
得られている。また、本演習の最も大きな目的である「食べ物と命の関連性」や「食料生産の重要性」などについて関心を深めることについて、100%の学生が「強くそう思う」または「まあまあそう思う」と回答している。

一方で、他大学の学生との連携によるコミュニケーションスキル、チームワーク、リーダーシップの育成については「あまりそう思わない」と回答した学生が目立つ。

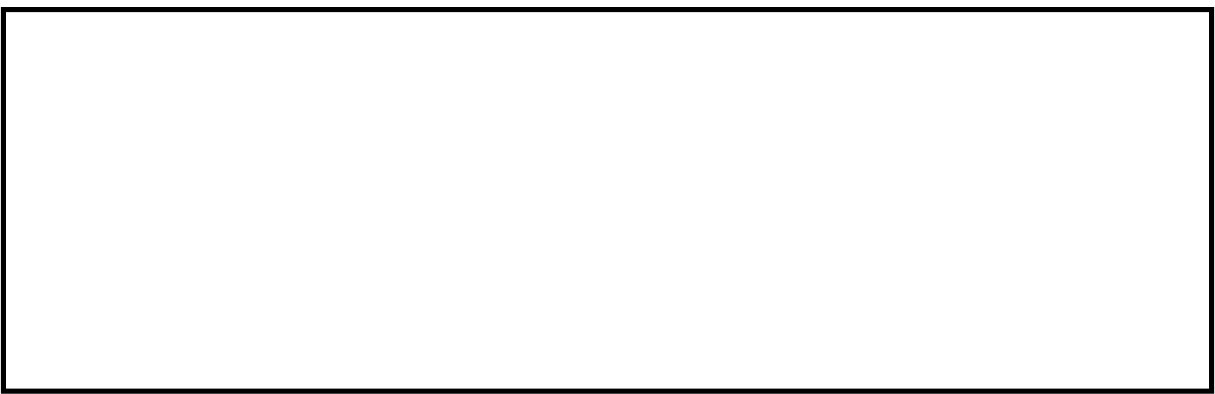
参加前の期待に対する満足度は、「非常に満足した」(44%)、「まあまあ満足した」(50%)と、概ね良好な回答が得られた。

➡ I-7-5) 参加費(実費)がどの程度までなら参加するか

- ・ 7,000 ~ 9,000 円 : 5 名
- ・ 10,000 ~ 15,000 円 : 5 名
- ・ 16,000 ~ 20,000 円 : 1 名
- ・ 21,000 ~ 25,000 円 : 該当者なし
- ・ そう思わない : 2 3 名

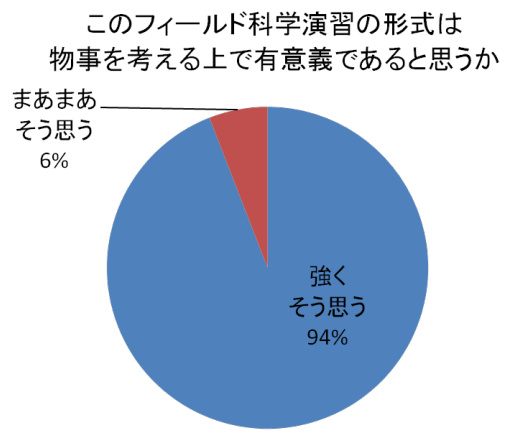


I-8 【食農フィールド科学演習全体について】



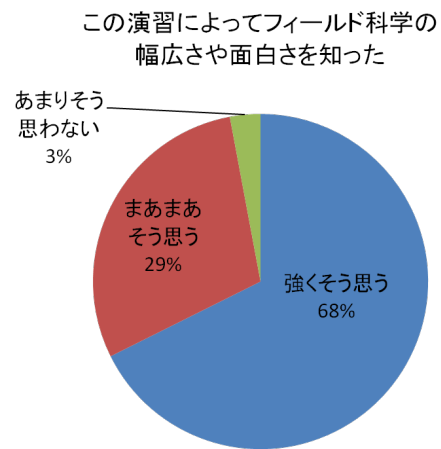
I-8-1) このフィールド科学演習の形式は通常の講義だけの授業よりも、物事を考える上で、有意義である

- ・ 強くそう思う : 3 2 名
- ・ まあまあそう思う : 2 名
- ・ あまりそう思わない : 該当者なし
- ・ 全く思わない : 該当者なし



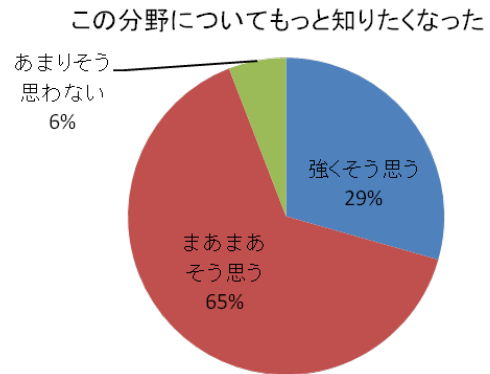
I-8-2) この演習によって、フィールド科学の幅広さや面白さを知った

- ・強くそう思う：23名
- ・まあまあそう思う：10名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし



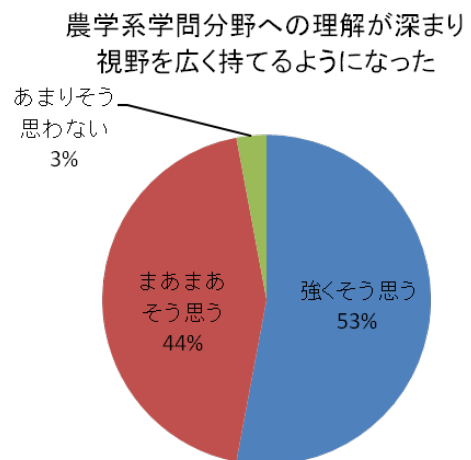
I-8-3) 今回の演習を受講してこの分野についてもっと知りたくなった

- ・強くそう思う：10名
- ・まあまあそう思う：22名
- ・あまりそう思わない：2名
- ・全く思わない：該当者なし



I-8-4) この演習によって、農学系学問分野（食と農の関わりを含む）への理解が深まり、視野を広く持てるようになった

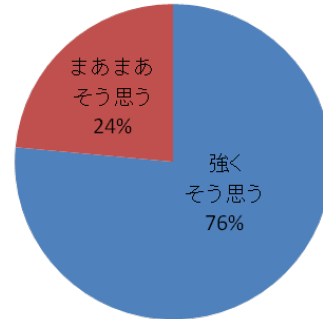
- ・強くそう思う：18名
- ・まあまあそう思う：15名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし



I-8-5) この演習によって、食べ物と命の関連性について考えるようになった

- ・強くそう思う：26名
- ・まあまあそう思う：8名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし

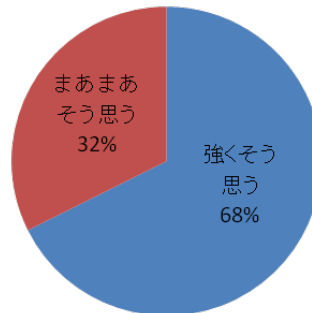
食べ物と命の関連性について考えるようになった



I-8-6) この演習によって、食糧生産の重要性について考えるようになった

- ・強くそう思う：23名
- ・まあまあそう思う：11名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし

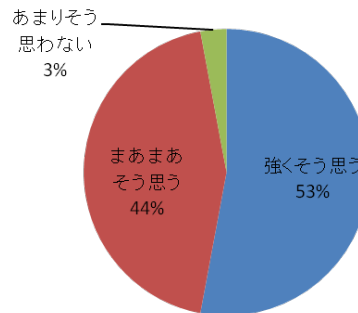
食糧生産の重要性について考えるようになった



I-8-7) この演習によって、今後も食と農に対して関心を持ち続けたいと思うようになった

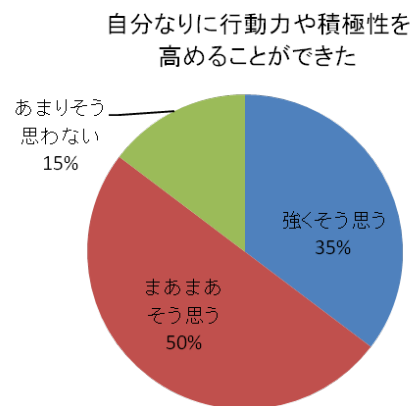
- ・強くそう思う：18名
- ・まあまあそう思う：15名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし

今後も食と農に対して関心を持ち続けたい



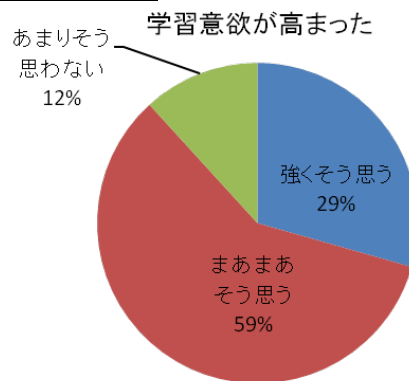
I-8-8) この演習によって、自分なりに行動力や積極性を高めることができた

- ・強くそう思う：12名
- ・まあまあそう思う：17名
- ・あまりそう思わない：5名
- ・全く思わない：該当者なし



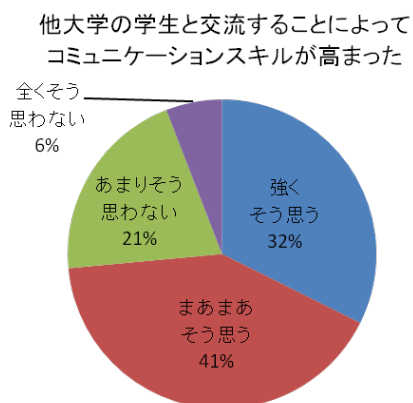
I-8-9) この演習によって、これからの学習意欲が高まった

- ・強くそう思う：10名
- ・まあまあそう思う：20名
- ・あまりそう思わない：4名
- ・全く思わない：該当者なし



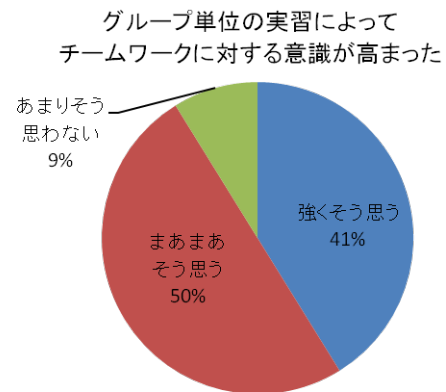
I-8-10) 他大学の学生と交流することによって、コミュニケーションスキルが高まった

- ・強くそう思う：11名
- ・まあまあそう思う：14名
- ・あまりそう思わない：7名
- ・全く思わない：2名



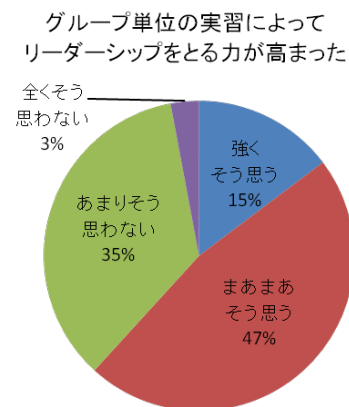
I-8-11) グループ単位の実習によって、チームワークに対する意識が高まった

- ・強くそう思う：14名
- ・まあまあそう思う：17名
- ・あまりそう思わない：3名
- ・全く思わない：該当者なし



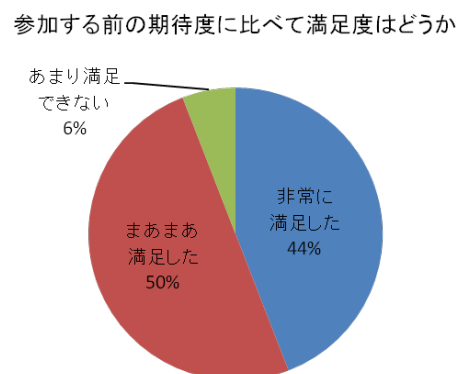
I-8-12) グループ単位の実習によって、リーダーシップをとる力が高まった

- ・強くそう思う：5名
- ・まあまあそう思う：16名
- ・あまりそう思わない：12名
- ・全く思わない：1名



I-8-13) 参加する前の期待度に比べて満足度はどうか

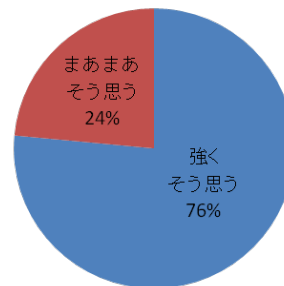
- ・非常に満足した：15名
- ・まあまあ満足した：17名
- ・あまり満足できない：2名
- ・全く満足できない：該当者なし



I-8-14) この演習を来年度以降も開講するのが良い

- ・強くそう思う：26名
- ・まあまあそう思う：8名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし

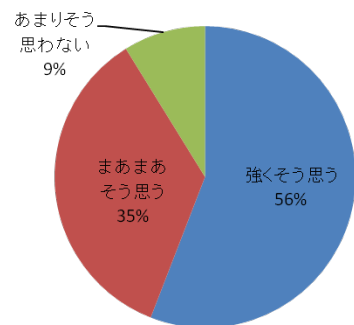
来年度も開講してほしいか



I-8-15) 今回の演習を受講して後輩にも勧めたいと思ったか

- ・強くそう思う：19名
- ・まあまあそう思う：12名
- ・あまりそう思わない：3名
- ・全く思わない：該当者なし

この演習を後輩に勧めたいと思うか



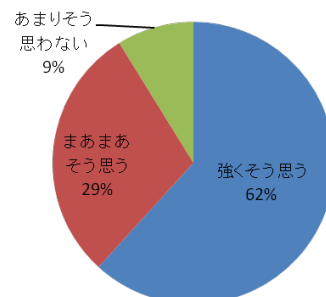
I-9 【その他】

I-9-1) フィールド科学演習以外にも他大学の講義を受講できる機会をもっと増やして欲しいか

いか

- ・強くそう思う：21名
- ・まあまあそう思う：10名
- ・あまりそう思わない：3名
- ・全く思わない：該当者なし

この演習以外にも他大学の講義を受講できる機会をもっと増やして欲しいか



ため、それぞれに分類した。

I-9-2) フィールド科学演習一般についての受講者の意見

<回答者数：29名、無回答者数：5名、のべ回答数：46件>

《感想》

- ・動物たちと接することでより深く考えることができた。
- ・グループ分けをもっと変えていって、様々な人と作業するようによければ良かった。
- ・体験できる。
- ・自分の学校にはない設備などがあるし、いろんな活動ができる。
- ・時間の関係で体験できなかった作業がいくつかあって残念だった。
- ・他大学との交流の場にもなり、普段体験できない事もできるので、コミュニケーション能力など就職活動に役立つと思います。
- ・日々の生活ではけっして体験できないことをさせていただいて命の重み、生かされているという自覚、食という大切さを実感した。
- ・初めて体験する事ばかりで（実習）、知識を持っている人よりも新鮮な気持ち・好奇心旺盛に牛と触れ合い、職員の方々に質問し、作業に取り組むことができたと思います。
- ・講義では、授業で習った事も多かったけれど、他大学・他学科の人の反応を見たり、農学的観点での見方を知ったりして、新しい一面の捉え方をすることができた。
- ・自分が普段立ち入らないようなところで活動することは新鮮であり、記憶に残りやすいので良いと思う。
- ・フィールドに携わる方々とコミュニケーションが取れるところも良いと思う。
- ・座学のみではなく、実習があることで、より理解できるし、頭で考えるよりも実際に行動して体験したほうが、ちょっとしたきっかけで人として変わることができそう。
- ・座学もちろん必要だと思いますが、実際にフィールドに出て五感で体験したことのほうがより説得力があると思います。
- ・牛に触れ合えたのが私にとってとても貴重な体験でした。
- ・とても楽しかったです。
- ・今までに体験したことのない貴重な体験をすることができた。
- ・思い出に残る時間になった。
- ・話を聞くだけじゃわからない、大変さ・苦勞がわかるのは確実なので良いと思います。
- ・普段関わっていない分野を直接、体験できてとても有意義な演習だった。
- ・座学ばかりだと眠くなってしまうので、実習があると楽しく学べるので良いと思います。
- ・他大学の方々と話せるのが楽しいです。
- ・実際に体を動かすことで、内容が頭に入りやすく、とても身にしみた。
- ・コミュニケーションも取れるのでとても有意義だった。

- ・技術職員の方々も丁寧に教えてくださり、楽しく学ぶことができました。
- ・こういった体験はなかなかできないので、ぜひ機会を増やしてほしい。
- ・自ら体験することによって、より実感がわきました。
- ・身近に動物と接することができて、生き物について考えられた。
- ・専門を学ぶ場である大学で、その方面の学問を知ることができる体験は貴重だと思う。
- ・他大学に行くことも良い刺激になると思う。
- ・この体験をより多くの人々が体験できるようにしたらいいと思う。
- ・大変なこともありましたが、楽しかったの方が大きくて自分でもびっくりしています。
- ・皆がこの実習を受けられたら本当に良いと感じました。
- ・一日の予定がきっちり組まれていたのでスムーズに出来たと思います。
- ・スムーズに学習できたことがこの授業の評価につながっています。
- ・最初はただの興味で受講する人がほとんどだと思うし、私自身もそうでした。しかし、私の科では体験することのできない、ニワトリの解剖を通して命と食について改めて考えることができたように思う。これもフィールド演習を通しての実感だと思う。
- ・牛などの家畜に対するイメージや世話の大変さを実感することにより、身を持って色々なことを感じることはできた。
- ・命を頂くという意味を受講前より確実に理解したと思う。
- ・実習を通してその分野の理解を深めることができて良いと思う。
- ・初めて農作業をして、臭いし、大変だし、動物は言うことを聞かない事が多いし、農作業をやりたがらない理由がわかりました。しかし、作業をしている技術員の人達はみなさん楽しそうで、動物を時に厳しく、時に優しく育てていたのが印象的でした。
- ・牛はかわいかったし、楽しいこともあったけど、除糞作業など体力的にきついことも多くて、思っていたよりハードなフィールド演習でした。でも、普段だったら絶対体験できない事なので貴重な経験ができて良かったです。
- ・普段できない体験ができるため、広く多くの人が体験できたら良いと思った。

《要望》

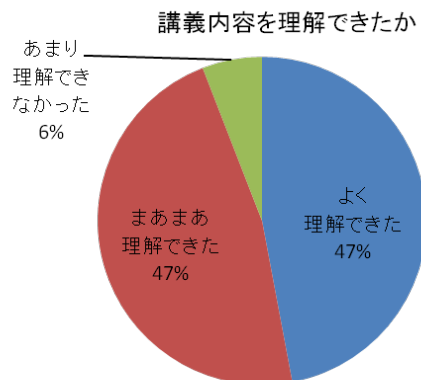
- ・授業の内容をメモするためにもう少しだけ話すスピードを落としてもらいたいです。
- ・パワーポイントのスライドの切り替えが速く、あまり書けませんでした。
- ・グループ発表の詳細（発表時間・練習時間）は事前に知りたかったです。
- ・広島大学の学生が少ないと思いました。

Ⅱ 授業に関する質問（この演習は、講義、実習、発表等から構成されている）

Ⅱ－１【今回の講義に関する質問】

Ⅱ－１－１）講義内容について

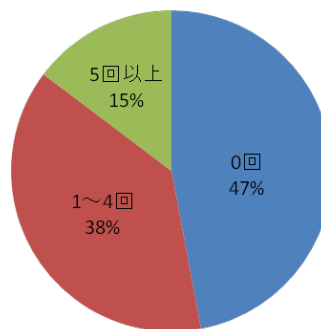
- ・よく理解できた：16名
- ・まあまあ理解できた：16名
- ・あまり理解できなかった：2名
- ・全く理解できなかった：該当者なし



Ⅱ－１－２）講義の内容について教員や補助者に何回、質問をしたり、意見を述べたりしたか

- ・0回：16名
- ・1～4回：13名
- ・5回以上：5名

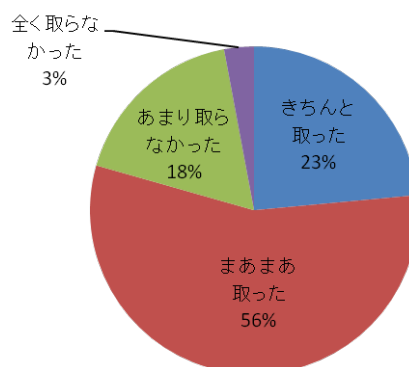
講義の内容に関して質問や意見を述べたか



Ⅱ－１－３）講義のノートやメモを取ったか

- ・きちんと取った：8名
- ・まあまあ取った：19名
- ・あまり取らなかった：6名
- ・全く取らなかった：1名

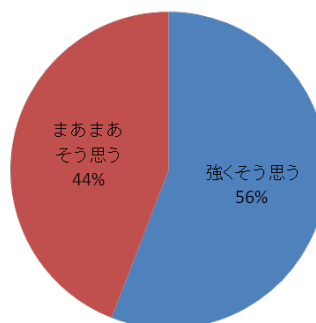
講義のノートやメモを取ったか



Ⅱ－１－４）講義内容は、この授業全体や実習の意味や目的、内容を理解させるものでしたか

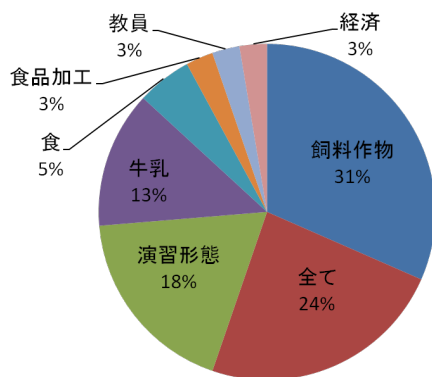
- ・強く思う：19名
- ・まあまあ思う：15名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし

講義の内容は理解の手助けになったか



Ⅱ－１－５）講義のどのような部分が面白かったか

<回答者数：33名、無回答者数：1名、のべ回答数：38件>



図Ⅱ－１－５ 「面白かった部分」として挙げられていた内容のカテゴリ別割合

《飼料作物について》

- ・「エサの秘密をさぐる」という内容は知らない事ばかりで、とても勉強になりました。
- ・食料自給率について、発表の内容にも使ったということで面白かったというより、深く学ぶことができました。少し興味も湧きました。
- ・トウモロコシの講義に関して言えば、実際に見ながら講義を進めてくださっていたのでとても理解しやすく、そして興味を持たせるすばらしいものでした。
- ・デントコーンとスイートコーンの実験が面白かった。そもそも2種類あって、家畜用、人間の食用があるということも知らなかった。ただ話を聞くだけでなく、実験を入れたことによってより興味を持って受講することができたと思う。
- ・えさの構成。
- ・えさの原料など詳しく知ることができたこと。
- ・トウモロコシがとても面白かったし、驚いたことがありました。それは家畜用のトウモロコシが育てられていた事です。

・普段、何気なく食べているトウモロコシにも種類があり、実際に食べてみるとかたかったり、あまかったり、家畜のためのトウモロコシがあると初めて知った。

《全て》

- ・専門知識やそのことに対する見解が聞けるところ。
- ・新しい知識が増えたとき。
- ・とてもわかりやすい内容だったので、楽しめた。
- ・どういうことをしているかということが知れた。
- ・自分の大学ではわからない事が聞けて、そのものに対して意識するようになったのでとても面白いことがわかりました。
- ・知らない事を知れたこと。
- ・今まで持っていたイメージと全く違っていたこと。
- ・普段はできないことや知れないことを体験し、学ぶことができた。
- ・他大学の学生とのふれ合い。

《演習形態》

- ・ただ話すだけでなく、実習もすることができてわかりやすかった。
- ・実習だけではわからないことを学ぶことで、学んだことを更に実習に活かすことができた。
- ・パワーポイントを使った講義で視覚的に退屈することが無かった。
- ・自分の大学では学ぶことのできないことが大半を占めていたこと。それが、実験などを交えていたことが面白かったと思います。
- ・実習の補足になっていたりして、詳しく聞けたこと。
- ・フィールドでの演習と関連付けられていたので、理解・想像しやすく、講師の方々がテレビカメラを意識しているのが面白かった。
- ・テキストは簡潔でわかりやすかったけれど、その分メモすることが多くて実際に書いてみることで、よく頭に入って印象に残ったのでこのくらいの文章量でちょうど良いと思う。

《牛乳について》

- ・牛乳の流通。
- ・牛乳は飲んだことがあるし、知っているけれども、牛乳の味や牛乳ができる過程など、牛乳をいろんな角度から知ることができたので、そこがおもしろかったです。
- ・牛乳の話にとっても興味が湧いた。普段飲んでいる牛乳でもたくさんの種類があり、それぞれどのように区分されているのかを知れてよかった。
- ・牛乳が届くまでの経緯は、今まで考えていたことと違っていた。
- ・牛乳の流れは一方通行ではなく、いくつもの未知に分かれているということが良くわかりました。

《食について》

- ・普段食べている食べ物についていろいろ考えることができた。
- ・食がどのようなものかということが理解できた。

《食品加工》

- ・ヨーグルトの講義が面白かった。細菌の種類が多くあり、興味が持てました。

《経済》

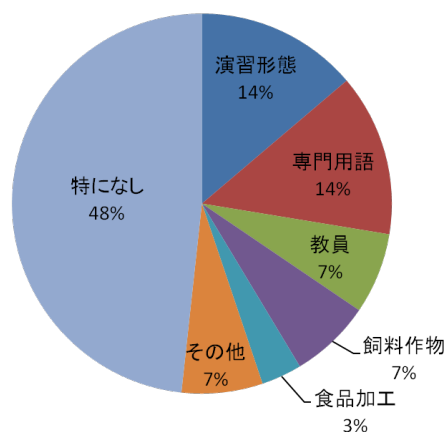
- ・農業分野だけではなく、経済面からのアプローチも学ぶことができた。

《教員》

- ・他大学の先生の授業が聞けたこと。

Ⅱ-1-5) 講義のどのような部分が理解しにくかったか

<回答者数：29名、無回答者数：5名、のべ回答数：30件>



図Ⅱ-1-6 「理解しにくかった部分」として挙げられていた内容の 카테고리別割合

《演習形態》

- ・いきなり散歩にでるよ、と言って外に出ましたが、外出するならば事前に言っておいて頂きたかったです。日に当たるのが非常に嫌でした。
- ・時間が遅れたり、押ししたりするのは仕方ないことだと思いますが、説明してほしい。
- ・立ち聞き、前の方がよく見えなかった。
- ・スライドで説明するところは、少し理解しづらかったです。

《専門用語》

- ・普段習わない専門的な事について専門用語などが出てきたところ。
- ・ちょっと専門的すぎるワードが出てきた時は話についていくことができず理解に苦しんだ。
- ・自分自身に農業などの知識が無さ過ぎて、先生の言ってることがわからないことがたまにありました。
- ・専門用語がわかりにくかった。

《教員》

- ・マイクを使って話してほしい。
- ・専門外という中で早口での説明があり、理解しにくいことがあった。

《飼料作物》

- ・トウモロコシの話では二糖類やらスクラロースやら聞いたことはあるが詳しい働きを知らな

い物質の名前が出てきて理解しにくかった。

・自分たちで取ったコーンを使用しなかったのも？という感じでした。大切にしなければいけない、命に感謝しなければいけないと教えられたのに、使わないの？と思いました。めったに収穫を体験することはできないし、それを体験できたのは良かったけど、全体で1本ずつで説明したほうが良いように思いました。

《食品加工》

・ヨーグルトの細菌や、成分などの理解が難しいかなと思いました。

《その他》

・作業に関して、もう少し具体的にわかりやすく説明がほしかった。

・実際に体験してみないとよくわからない部分が多いと思いました。

《特になし》

・実際に、同じような内容を大学の講義でやっているのだから、わかりにくい講義は特にありませんでした。

・わかりやすかったです。

・わかりやすく親切だったので大丈夫でした。

・理解しにくいところはありませんでした。質問もしました。

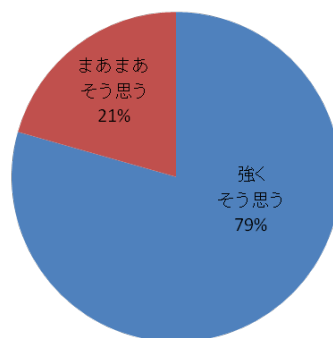
・だいたい理解することができました。すべて丁寧に教えて頂いたのだから、楽しく受講できました。

Ⅱ-2 【今回の実習に関する質問】

Ⅱ-2-1) 実習は面白かったか

- ・強くそう思う：27名
- ・まあまあそう思う：7名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし

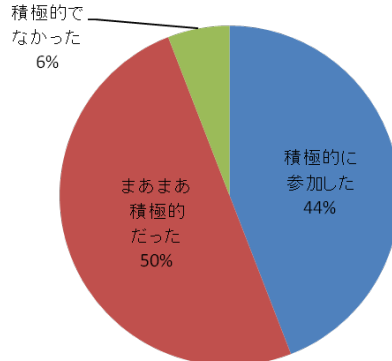
実習はおもしろかったか



Ⅱ-2-2) 実習にどのように参加したか

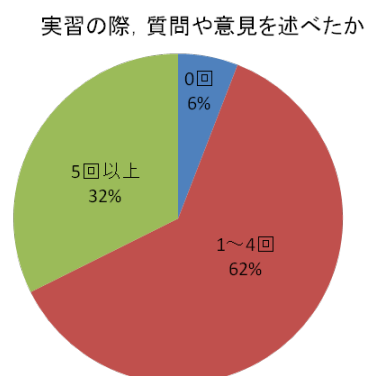
- ・積極的に参加した：15名
- ・まあまあ積極的だった：17名
- ・あまり積極的でなかった：2名
- ・全く積極的でなかった：該当者なし

実習への参加姿勢



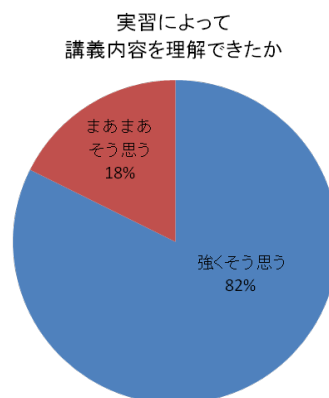
Ⅱ－２－３）実習の際、教員や補助者に何回、質問をしたり、意見を述べたりしたか

- ・ 0回：2名
- ・ 1～4回：21名
- ・ 5回以上：11名



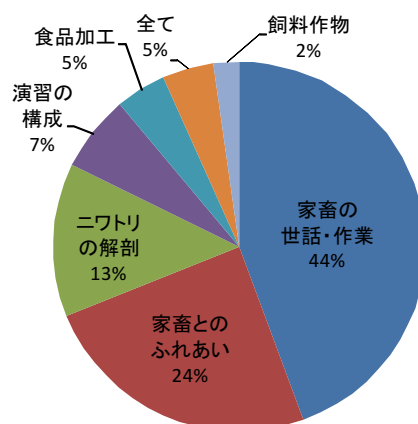
Ⅱ－２－４）実習があることによって講義内容を理解できるようになりましたか

- ・ 強くそう思う：28名
- ・ まあまあそう思う：6名
- ・ あまりそう思わない：該当者なし
- ・ 全く思わない：該当者なし



Ⅱ－２－５）実習で面白かったのはどのような点か

<回答者数：34名、無回答者数：なし、のべ回答数：45件>



図Ⅱ－２－５ 「面白かった点」として挙げられていた内容のカテゴリ別割合

《家畜の世話》

- ・搾乳やエサ作りなどの仕事。
- ・羊の薬浴。
- ・子ブタの移動。
- ・子ウシへの乳やり。
- ・やはり牛の世話はとても面白かった。
- ・生れて1～2日の子牛に初乳をあげたことが、とても印象に残っている。
- ・乳搾り。
- ・作業の仕組み、意味を知れたこと。
- ・羊をつかまえるのが大変。疲れましたが、面白かったです。
- ・1番やりがいがあったのは除糞で、生命活動を強く感じられた。
- ・“生きている動物（家畜）”に直に触れ合い、その世話に参加させていただくことで自分たちの毎日の食事に対するありがたみを感じながら接することができた点。
- ・ブラッシングも楽しかった。
- ・牛のエサやり。
- ・農場の仕事を実際に体験できてよかった。
- ・動物の誘導やブラッシングなどの世話をして触れ合うことができるととても面白かったです。
- ・農場での体験（特にブラッシング）。
- ・家畜の世話が特に楽しかったです。普段なかなかできないのでこの体験は本当に貴重でした。
- ・初めての体験をして、すごくわくわくしました。牛の乳搾りや子牛とのコミュニケーションは驚きの連続でした。大変だったけど、実際に体験してみるととてもよい経験ができました。ミニブタの体重測定や羊の薬浴もとても楽しかったです。

《家畜とのふれあい》

- ・たくさんの動物との触れ合いや世話をすること。
- ・牛に実際に触れたこと。
- ・牛や豚、羊などと間近で接することができたこと。
- ・テレビなどでしか見たことのない動物と触れ合うことで、何気なく行なっている「食」について考えることができた。
- ・動物たちと直接、触れ合うもの（牛の搾乳、子ブタの体重測定、ブラッシング。）が特に面白かったです。
- ・エサやりもおもしろいように食べる様子を目の当たりにすると可愛くて仕方がなかった。
- ・エサや乳を与えるとおもしろいように食べたり飲んだりしている姿を見るのが面白かった。
- ・牛などと触れ合える点。
- ・牛と実際にふれあえたこと（ブラッシング）。
- ・牛や羊などの動物とふれあうことができた。

《ニワトリの解剖》

- ・ニワトリの解剖はとても印象的だった。今までやったことのないことでとても積極的行動することができたと思う。
- ・ニワトリの解剖が面白かった。最初は血が見えて気持ち悪いと思っていましたが、自学科では決して体験できなかった事だし、解剖というインパクトで、教えられたことがすごくわかりやすく理解する事ができました。
- ・ニワトリの解剖をして終わりではなく、その後とさかも食べれるとか腎臓は3対あるとかささみやせせりの場所など説明してくれた点が面白かったです。
- ・今までラットや豚、キツネの解剖はやったことがあったけど、ニワトリは初めてだったので新しい発見もあって面白かったです。
- ・ニワトリの解剖！先生の説明がわかりやすかった。
- ・ニワトリの解剖。体の内部の仕組みや卵の出来上がりなど見ながら教わることでとても印象に残りました。切る部分や動かし方などでグロテスクになるので、少し気分は悪くなりました。生で見ることでとても印象に残りました。

《演習の構成》

- ・実際に体験することによって、座学では気付けないことに気づけるのが面白いです。
- ・乳搾り→ヨーグルトや解剖→ソーセージなどが繋がっている点。
- ・実際に経験してみて初めてわかることが多いと思う。今までどのような工程を経て出来上がっているのか知らなかったものを実際に自分で作ってみて意外と簡単にできることがわかったし、先生方も私たちと同じくらい楽しく講義されていたので、面白かったです。

《食品加工》

- ・普段、絶対に作る事のない、ウインナーやヨーグルトを作って、その日に試食できたこと。
- ・ソーセージを作るところは初めてで、積極的に行動した。

《全て》

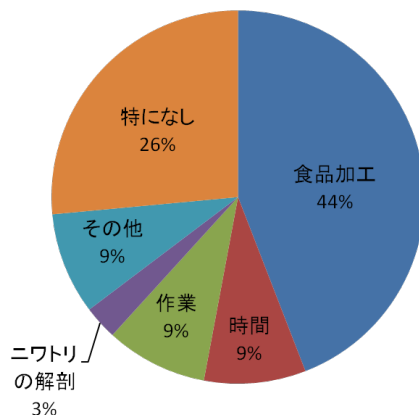
- ・全体的に面白かったです。
- ・解剖やヨーグルト作りなど実習全てが面白かったです。

《飼料作物》

- ・実際に2種類のトウモロコシを口にして糖度を測ることで、違いを感じる事ができた点。

Ⅱ－２－６）実習で改善してほしいのはどのような点か

<回答者数：33名、無回答者数：1名、のべ回答数：34件>



図Ⅱ－２－６ 「改善点」として挙げられていた内容のカテゴリー別割合

《食品加工》

- ・ヨーグルトやソーセージ作りは参加できる人数が少なすぎて残念でした。見るだけでももっと見やすいように工夫して頂きたいです。
- ・ソーセージ作りが機械の都合上、全員でできなかった。
- ・ソーセージ作りに参加できる人が少ない。
- ・ヨーグルトやソーセージ作りはもう少し少人数でできればベストかなと感じました。
- ・「ニワトリの肉を加工する」は数人しか実習ができない点。
- ・加工など機材の不足によって、見るだけの人が多くいたこと。
- ・食品製造実習でより多くの人々が体験できるよう5～10班で実習できると良いと思った。
- ・ソーセージのように参加する人数が限られている実習があり、できる人とできない人に分けられていた点。
- ・ウインナー作り。台を1つにして中心に置くようにしてほしい。
- ・ヨーグルトやソーセージ作りでももう少し、多くの人々が参加できるようにしてほしい。
- ・ソーセージ作りの時、一部の人だけして、他の人達は見学だけだったので、役割分担を決めて皆でできるようにした方が良いと思います。
- ・ソーセージ作りで機械が1つしかなかったのが残念でした。最初は見ているだけでも面白かったのですが、後半は少し気持ちが離れました。
- ・加工で全員ができるようにしてほしい。
- ・ヨーグルトやソーセージ作りのときは、人数が多いこともあり、積極的に参加しづらかった。
- ・ソーセージでは時間が足りなくなったので、時間の改善が必要だと思う。

《時間》

- ・長引いてタイムスケジュールを大きく外れたこと。

- ・時間。仕方ないとは思いますが、休憩を削るとしんどいです。
- ・時間配分の調整。

《作業》

- ・つなぎを薄手にしてほしい。そろいのキャップがあると尚良い。(麦わらはジャマだった)。
- ・作業着と軍手を洗っても良かったことを最初に知っておきたかった。
- ・作業に移る前に作業の内容をもう少し具体的に説明してほしい。

《ニワトリの解剖》

- ・解剖の実習はとても怖かったです。体験前はとくに怖くて不安なので、もう少し説明を事前にしてほしいです。

《その他》

- ・苦手な人には「話だけ」でもわかるようにできたらいいなと思いました。
- ・説明が聞き取れなかった。
- ・実習の幅を広げてほしい。

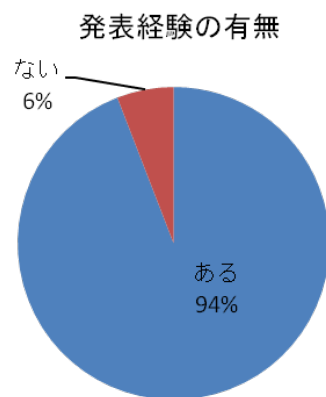
《特になし》

- ・技術職員の方々の話もわかりやすく、改善すべき点は見受けられませんでした。

Ⅱ-3 【今回の発表会に関する質問】

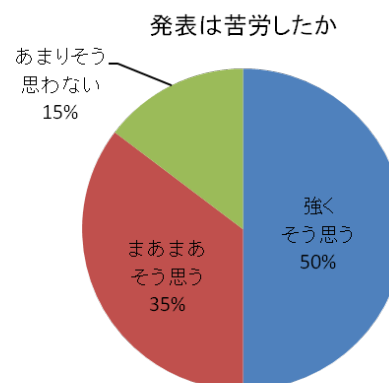
Ⅱ-3-1) これまでに発表会の経験があるか

- ・ある：32名
- ・ない：2名



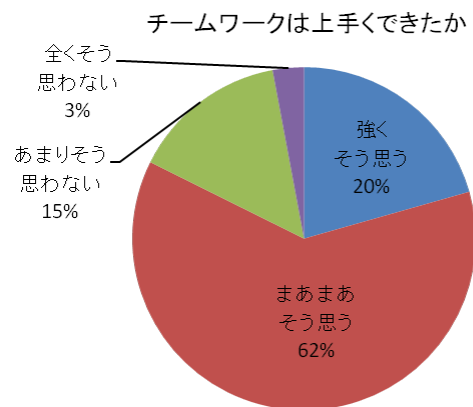
Ⅱ-3-2) 発表会は大変苦勞したか

- ・強くそう思う：17名
- ・まあまあそう思う：15名
- ・あまりそう思わない：5名
- ・全く思わない：該当者なし



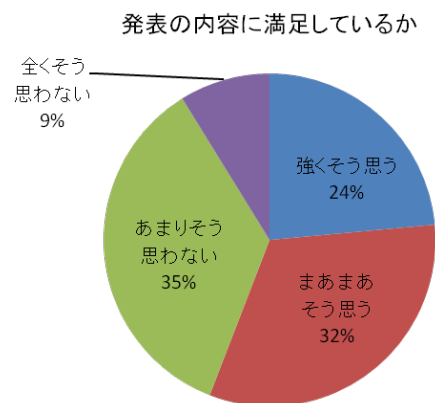
Ⅱ－３－３）発表のチームワークは上手くできたか

- ・強くそう思う：7名
- ・まあまあそう思う：21名
- ・あまりそう思わない：5名
- ・全く思わない：1名



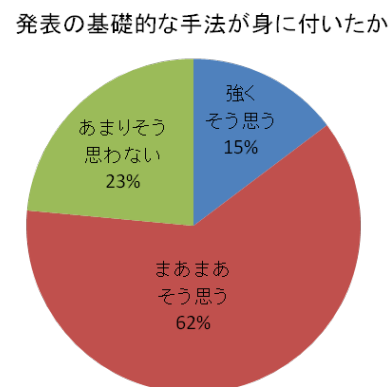
Ⅱ－３－４）発表内容に満足しているか

- ・強くそう思う：8名
- ・まあまあそう思う：11名
- ・あまりそう思わない：12名
- ・全く思わない：3名



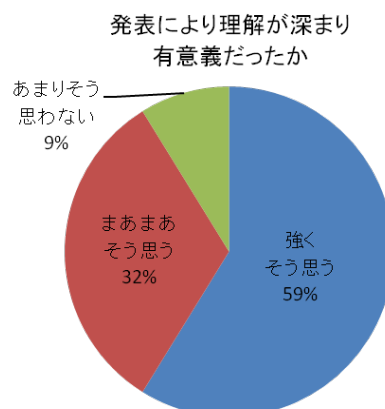
Ⅱ－３－５）発表のための基礎的な手法が身に着いたか

- ・強くそう思う：5名
- ・まあまあそう思う：21名
- ・あまりそう思わない：8名
- ・全く思わない：該当者なし



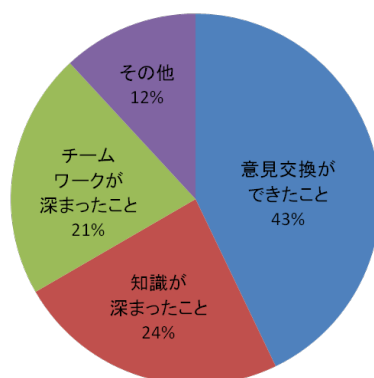
Ⅱ－３－６）発表会をすることで、講義や実習内容がより理解でき、有意義だったか

- ・強くそう思う：20名
- ・まあまあそう思う：11名
- ・あまりそう思わない：3名
- ・全く思わない：該当者なし



Ⅱ－３－７）発表で良かったのはどのような点か

<回答者数：32名、無回答者数：2名、のべ回答数：42件>



図Ⅱ－３－７ 「良かった点」として挙げられていた内容のカテゴリ別割合

《意見交換ができたこと》

- ・自分とは考えの異なる人と話すことができたこと。
- ・他の班の人がどんな風にかんじていたのかを知れた。
- ・自分たちの班からは出なかった意見や考え方を聞くことができて良かった。
- ・自分の学校の人達の発表はよく見ますが、他大学の人達の発表を見る機会はほとんどないので、今回の発表ではそれが見れて良かったです。
- ・自分が学んだと思った事が正しかったのか比べることができる。
- ・他の班の人の意見を聞くことができる。

- ・皆のパワーポイントが見やすかった。他の意見を聞くことができ、多くの考え、視点を知ることができた。
- ・自分では思わなかった意見を聞くことができた。
- ・他のグループの調査結果を聞いて、より理解が深まった。
- ・自分以外の班の人がどういうことを思っているかを聞けて、勉強になった点。
- ・発表することによって、自分だけでなく、他の人の意見もたくさん共有することができ、とても良かったと思います。他の人の発表を見るのはとても楽しかったです。
- ・他の9班の発表を聞くことで体験した内容などを思い出すことができた。
- ・食について他班の発表を聞くことで自分とは違う考え方を得ることができた点。
- ・他人の意見を聞くことができた。
- ・他の実習生の意見を聞くことができる点。
- ・他の班では異なる意見が出ていて、すごいな～と感心した。
- ・他の班の意見、考えが聞けて良かった。
- ・自分は気付かなかったこと、思わなかったことを知れた。

《知識が深まったこと》

- ・自分たちが実際に体験したり、聞いたりしたことをもう一度、思い返すことができる。それにより、さらに知識を深めることができる。
- ・普段、知っていないものを積極的に調べて、発表をするということが良い経験になりました。
- ・様々な視点からの意見を取り入れることができたと思います。
- ・学んだことをもう一度まとめ直す事で、より知識を定着しやすかったです。
- ・それぞれが調べたことについて知ることができて、知らなかったことも知れるので良いと思いました。
- ・発表会の作成をすることによって振り返り学習をして、頭の中に強く残った。
- ・実習をふり返る事は大切だと感じられて良かったです。
- ・自分たちで考えて発表すること、人の発表を聞くこと、人の意見を聞くことで自分たちの学習したことをふり返ることができた。
- ・発表する場があると思うと、日々の実習や講義もメモを取り、一生懸命考えることができました。

《チームワークが深まったこと》

- ・班のチームワークを深められる。
- ・班の皆で協力し合い、発表のパワーポイントを作るなど楽しく、理解しながらの作業はとてもよかったと思う。
- ・個人的なことになるが、班の中で最年長ということもあり、全体をまとめながら準備をするよう努めることができた。
- ・知らない人たちと協力して行うことは、とても良い経験だと思った。
- ・チームワークが深められる点。
- ・それまで目すら合せなかったチーム内のメンバーが、積極的に話しかけてくれたので次の日からの作業もしやすく、良好なコミュニケーションがとれた点。

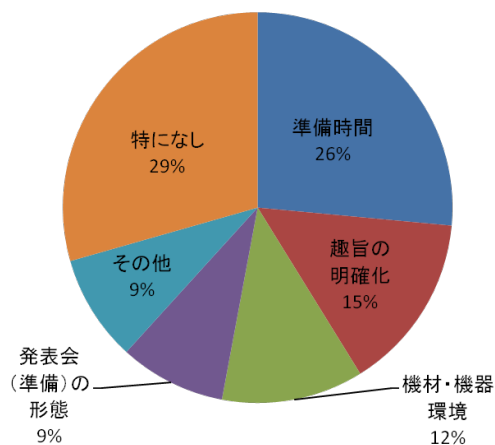
- ・それぞれの得意分野で作業を分けることができた。
- ・発表の時間が唯一の班みずいらずだったので、チームワークの大切さや協力する事、意見をまとめることの大変さがわかった。
- ・他校の人と協力し、発表に向けて準備をするのはとても楽しかったです。

《その他》

- ・パワーポイントを使うことによって、口頭のみで発表するよりわかりやすく伝えることができたと思う。
- ・5分くらいが適切だと思う。
- ・どのように構成するとよいのか考えさせられた。

Ⅱ－３－８）発表で改善したほうが良いと思われるのはどのような点か

<回答者数：31名、無回答者数：3名、のべ回答数：34件>



図Ⅱ－３－８ 「改善点」として挙げられていた内容のカテゴリー別割合

《準備時間》

※「準備時間が少なかった」という回答が9件あった。

《趣旨の明確化》

- ・もう少し発表内容について教える時間が多い方が良かった。
- ・完成に求めることをもう少し具体的にしてほしい。
- ・体験の感想だけを述べているところは、見ていて面白くなかった。
- ・みんなで学んだことを私たちが知らないというような感じで説明されるのもあまり…
- ・テーマが広すぎて、何を作ったらいいのか少しわかりづらかった。もう少し、短いテーマにした方が作りやすいと思います。

《機材・機器環境》

- ・パソコン（パワーポイント）の機種が少し古い。

- ・カンペの印刷が可能なことなどもう少し早く言ってほしかったです。
- ・パワーポイントでカンペが見えるようにしてほしい。
- ・写真を気軽に撮れないため、文字だけのスライドになりやすい。ネットから写真やイラストを取ってこれるようにしてほしい。

《発表会（準備）の形態》

- ・グループ数が多く、全体の発表時間が長いと感じた。
- ・時間があれば、事務員の方や技術員の方、全員からもコメントをいただきたいかった。
- ・男女別になってしまうが、部屋ごとにグループを作れば、発表準備がしやすいと思う。

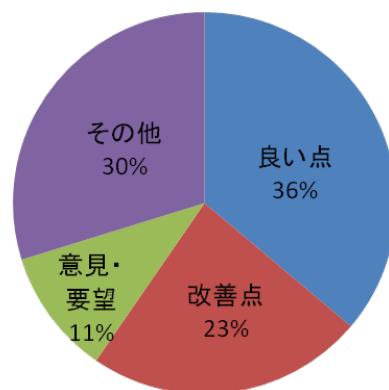
《その他》

- ・今回は自分が班の足を引っ張ってしまったことが1番なので、他の事に目を向けることができませんでした。
- ・個人間に意見の差がありました。
- ・まとめ方が不十分であった。

Ⅱ-4 【今後の食農フィールド科学演習についての質問】

Ⅱ-4-1) この演習についての良い点や改善すべき点等の感想

<回答者数：31名、無回答者数：3名、のべ回答数：34件>



図Ⅱ-4-1 この演習に対する感想の 카테고리別割合

《良い点》

- ・TAの方が女性で話しかけやすかった。
- ・他大学との交流
- ・体験を通して学ぶことができる。
- ・演習では普段、目に見えない所が見れて良かったと思います。
- ・解剖など普段体験できないことを体験・解説してもらい見分を深めることができた。
- ・学校や学年などを分けて班が作られていて、最終的には良かったと思う。

・一人で参加しても、他大学の人たちが良い人ばかりで全然平気だった。グループを勝手に決められているのも、すごく助かった。

- ・なかなか普段では体験したり、学んだりすることができないのですごく良い経験になる。
- ・様々な場面で活かされる知識が身に付く。
- ・TAの方々も質問するとわかりやすく答えてくださったので、とても助かりました。
- ・他ではほとんど体験できないことが体験できた。
- ・学校も学年も違う人々と交流できてよかったです。
- ・未体験の体験ができてよかったです。
- ・他大とのコミュニケーション最高です。
- ・体験できないことができて貴重な体験なのでとても良いと思いました。
- ・この演習の1番いいところは、他大学の友達と交流しながら、学べたという点です。
- ・発表会によって、より授業の内容が理解できる。

《改善点》

- ・ニワトリの解剖やソーセージ作りで時間が押してしまった。
- ・お風呂の時間が短かった。
- ・発表の練習時間が短い。
- ・講義の部分を増やすとさらに理解が深まるのではないかと思った。
- ・ソーセージ作りや実習で時間が足りていないことがあったのでそこを改善したら良いと思った。
- ・ご飯を改善すれば、満足度が上がると感じる。
- ・山口県立大学は大学からバスで来てさせていただいたのですが、到着点が明確でなかったよう
で来るときに困ったので、そのあたりをはっきりしてほしいです。
- ・カメラの存在が大きく、気になった。質問などしづらい。
- ・食事の量が少ない。
- ・時間が押すのは仕方がないのですが、お風呂の時間が短かったのが大変でした。
- ・移動が多いのと、ぐだぐだに進行してしまうところが難点ですが、すごく楽しかったです。
再参加できるなら、次も参加したいです。

《意見・要望》

- ・呉高専は1単位にしかならないのは納得がいかない。
- ・他大学の学生が集まるということで、それぞれこの演習にかける気持ちがバラバラでまとまりにくかったように思う。私はとても良い経験ができたと思うので、ぜひ今後も山口県立大学にも声をかけてほしい。
- ・修了証書の授与は各大学代表1名等の方が良い。
- ・農業系の学生と合同でしてみたい。
- ・単位が関係ない実習で体験したかった。

《その他》

- ・何気なく口にしていて食品の裏には多くの人の苦労や技術があるのだと思いました。
実習を通して様々な体験をすることができて良かったと思う。

- ・他大学の人と関われることはとても貴重な体験だったので、参加して良かった。
- ・安田女子では経験できないことができたので、次の勉強に活かしていきたい。
- ・良かった。
- ・とても良い体験ができました。ありがとうございました。
- ・「あたり前」がどれだけの犠牲や苦労の上に成り立っているのかを、あまりに知らなさ過ぎたことを実感できました。ありがとうございます。
- ・普段、体験できない非常に貴重な体験ができていろんな人に学んだことを伝えたくなった。
- ・他大学の学生と協力し合うということがあったから楽しく過ごせた。
- ・普段、できない体験ができる。
- ・All OK です。ありがとうございました。
- ・大変、満足のいく4日間でした。
- ・この4日間、十分に満足できた。
- ・高校の時に生物生産学部で「～博士になろう！」という授業に参加したことがあり、とても楽しかったし、志望校だったこともあり、生物生産の授業を受けてみたかったので今回参加できて本当によかったです。特に管理作業や実習の時に担当の方が細かいところまで詳しく教えてくださったので、とても勉強になりました。私は管理栄養士になるための学科に通っているので、この経験を生かして、視野の広い管理栄養士を目指したいと思います！